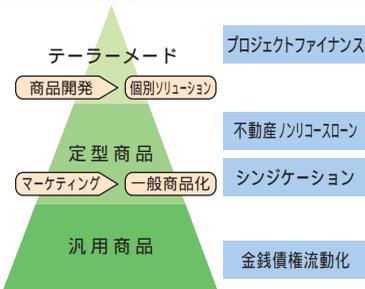


# 投資銀行ビジネス

プロダクツの汎用化・小口化(イメージ)

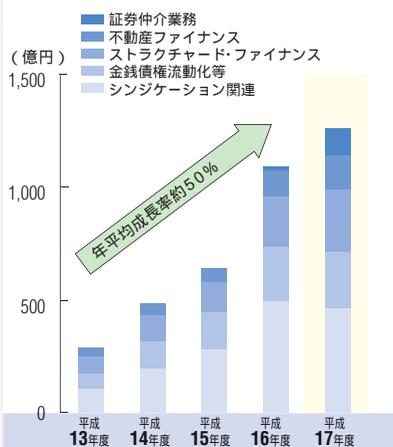


大和証券 SMBC ランキング

	順位	引受金額	シェア
普通社債主幹事	1位	20,148 億円	23.8%
株式公募・ブックランナー	1位	5,902 億円	30.2%

トムソンフィナンシャル(平成16年4月~平成17年3月実績)

## 投資銀行ビジネスの収益推移



## SMFGの投資銀行ビジネス

SMFGの投資銀行ビジネスの特徴は、お客さまの多様化する資金調達・運用・決済・リスクヘッジ等のニーズに合わせてテーラードで開発した商品を、より幅広いお客さまにもご利用いただけるようスピーディーに汎用化することです。また、平成18年度新設されたコーポレート・アドバイザリー本部(CA本部)と協働し、お客さまの経営課題解決ニーズにお応えすることで、お客さまの企業価値向上に貢献していきます。

## グループ証券会社との連携

SMFGは、大和証券SMBC(株) SMBCフレンド証券(株)をはじめとするグループ各社の総力を結集することで、銀行・証券業務双方のシナジーを活かし実績を上げています。大和証券SMBCは、普通社債主幹事、株式公募・売出ブックランナーの17年度リーグテーブルで1位となりました。また、SMBCフレンド証券は、三井住友銀行と協働で本邦初の映画ファンドである「北斗ファンド」を開発・販売しました。



## 平成17年度の成果

平成17年度は、引き続き投資銀行業務収益は順調に増加しました。特に、平成16年度に解禁された法人向け証券仲介ビジネスは、大和証券SMBCとの連携を活かした営業推進の結果、大きく成長を遂げました。また、平成17年度に大きな盛り上がりを見せたMBO・LBOマーケットにおいて、大型ディールを数多くアレンジし、市場での存在感を向上させました。

## Topics



### ラービグ・プロジェクトファイナンスの取り組み

三井住友銀行は、住友化学(株)とサウジアラビア国営石油会社サウジアラムコが行うラービグ石油精製・石油化学事業のファイナンシャルアドバイザーを務め、過去最大級(約59億ドル)のプロジェクトファイナンスを短期間かつ競争力のあるプライスで実現することに貢献しました。加えて、幹事行としてファイナンスに参加、JBICファシリティーエージェントに任命されました。当行のアドバイザー能力の高さに対し、スポンサーのみならず、マーケットからも高い評価を受けました。